



# 「第二次日本経穴委員会」便り

～第42回 経穴の表記の検討～

第二次日本経穴委員会・作業部会委員 こばやしけんじ  
小林健二

昨年の3月31日にお茶の水女子大学で「WHO標準経穴部位報告会」と題して以下のような内容を報告会しました。

1. 追加経穴（7穴）
  - ・眉衝、督兪、氣海兪、関元兪（膀胱経）
  - ・風市（胆経）
  - ・急脈（肝経）
  - ・中枢（督脈）
2. 骨度変更による変更経穴（18穴）
  - ・孔最（肺経）など
3. 名称変更（3穴）
  - ・飛陽 → 飛揚
  - ・客主人 → 上関
  - ・足陽関 → 膝陽関
4. 別説から正穴になった経穴（4穴）
5. 変更になった経穴（40穴）
6. 2案併記の経穴（6穴）

これは現行の学校教科書との相違（追加経穴と部位の相違）であります。これ以外に検討しなければいけない問題があると2つあります。それは以前このコーナーで書きました経穴の読み方の問題（第37回「経穴の読み方の検討」）。もう1つは、これからお話する経穴の表記の問題です。

## ジュネーブ会議決定事項

14経の経絡名および361穴の漢字表記については、1989年10月のWHO鍼用語標準化会議で決定されています。具体的な例を挙げます。

- ・Lung Meridian 手太陰(陰)肺経(经, 経)
- ・LU 1 Zhōngfǔ 中府
- ・LU 2 Yúnmén 雲(云)門(门)
- ・LU 3 Tiānfǔ 天府
- ・LU 4 Xiábái 俠(侠)白
- ・LU 5 Chǐozè 尺澤(泽, 沢)

などです。

①経絡名のアルファベット記号2文字

②経穴番号

③ピンイン（中国式発音記号）

④漢字（括弧なしは正字、括弧内は各国の現在使われている漢字）の順でまとめられました。

「中府」や「天府」については日本、中国、韓国で使われている漢字が同じということそのまま表記されています。しかし（ ）の中の漢字については各国で使われている漢字を使用しよ、という意味で「尺沢」を例に挙げれば、正字は「尺澤」であるが、中国は簡体字の「尺泽」、日本は常用漢字の「尺沢」で表記してよ、という内容です。

この1989年決定のテキストをお持ちの方は少ないと思います。内容はWHOのホームページにPDFファイルで公開されています。参考にしてください。

## 現行の教科書の表記との相違

では、ここからが本論です。現行の教科書とWHOが1989年に決議し、1993年マニラで出版した「STANDARD Acupuncture NOMENCLATURE (Second Edition)」の漢字の違いはどのようなものであるのか。そして今のパソコン環境にある文字書体 (JIS漢字) の問題について列挙いたします。

左が学校教科書、右がWHOによる決定漢字です。

### (1)【俠と俠】

- ・ 俠白：俠(俠)白
- ・ 俠谿：俠(俠)谿(溪)

### (2)【頰と頰】

- ・ 頰車：頰 (頰, 頰)車(車)

### (3)【缺と欠】

- ・ 列缺：列缺
- ・ 缺盆：缺盆

### (4)【谿と溪と溪】

- ・ 陽谿：陽(阳)谿(溪)
- ・ 解谿：解谿(溪)
- ・ 天谿：天谿(溪)
- ・ 後谿：後(后)谿(溪)
- ・ 太谿：太谿(溪)
- ・ 俠谿：俠(俠)谿(溪)

### (5)【鍾と鐘】

- ・ 大鐘：大鍾(钟)
- ・ 懸鐘：懸(悬)顛(顛)

### (6)【絲と糸】

- ・ 絲竹空：絲(丝)竹空

### (7)【瀆と澆】

- ・ 四瀆：四瀆(澆)
- ・ 中瀆：中瀆(澆)

(1)(2)については、教科書は「俠」「頰」の字を使っています。WHOの漢字と同じです。問題がないようですが、パソコンのUnicode漢字にはあっても、JIS漢字には「俠」「頰」はありません。「俠」「頰」の字を一般的には使うわけです。

(3)(4)(6)についても、教科書の表記はWHOと同じです。しかし缺は欠、谿は溪、絲は糸の字に常用漢字 (1981年、国語審議会で作られ、内閣から告示) は定めています。ならば、列欠、欠盆、陽溪、解溪、糸竹空と表記するのがいいのではないか、いや、それはちょっと待ってくれ、などとさまざまな意見が出ています。

(5)の鍾と鐘については、検討を要する問題かと思います。日本の経穴書の多くは「大鐘」「懸鐘」の「鐘」の字が多く見られます (代田文誌『経絡治療基礎学』、駒井一雄『経絡経穴学』など)。

(7)の四瀆、中瀆の「瀆」は教科書もWHOも同じです。問題ないようですが、この漢字はUnicodeにはありますが、JIS漢字にはこの字体はありません。しかし「澆」の字が略字としてあります。「四澆」、「中澆」と表記すべきかどうか。

以上のような現在のパソコン環境の漢字 (経産省) と常用漢字 (文科省) とWHOにより1989年に決定された漢字の問題、さらには伝統的に鍼灸業界で使われて目に馴染んでいる漢字表記の問題がいろいろ出てきます。みなさまのご意見をお聞かせ下さい。

E-mail : kobayashi-toua@umin.net